

観光における様々なデザイン

研究の概要

観光には様々なシーンでデザインが関わっています。観光の情報を発信する様々なデザイン（観光広告・広報、サイン、インターネット）や、地域の伝統工芸や地場産業のデザイン（プロダクトデザイン）、観光地としての建築や街、そして景観にいたる空間のデザイン等。そして地域のアイデンティティや観光としてのプライオリティを確立させるためのブランディングも観光に関わるデザインの重要なテーマとなります。これら観光に関わる様々なデザインに対して適切な表現やシステムを求めて、実践的なアプローチで研究を進めていきます。

こんな課題解決のために

具体的には以下のようなアプローチが考えられます。

- 1) 観光地や地域のアイデンティティを明確に示すブランドデザイン
(CI事業、シンボルマーク、地域ブランド商標等)
- 2) ブランディングに基づいた観光情報発信としてのグラフィックデザイン
(ポスター、パンフレット、インターネット、ノベルティ、パッケージ)
- 3) 景観や地域性にマッチングしたサインデザイン
(観光サイン、防災サイン、マップ)
- 4) 地域のシーズを活かしたお土産物・プロダクトデザイン
(伝統工芸、地場産業における商品開発、プロモーション、プレゼンテーション)

行政・経済界・地域と連携した取り組み例

- ・シンボルマーク審査、監修
(日高川町章、紀の川市章、海南市章、泉南市「花笑み・せんなん」ブランド事業等)
- ・観光広告・広報コンペ審査
(和歌山県観光ポスター、和歌山県総合情報誌制作、
紀の国わかやま国体広報及びPRキャラクター「きいちゃん」審査)
- ・観光ブランディングと情報発信
(丹生都比売神社ポスター、竹燈夜ポスター等)
- ・地場産業との共同研究
(お土産物、漆器、家庭用品、ニット、ボタン、建具等)



研究者からのメッセージ

色やかたちといったビジュアルだけではなく、シーズとニーズを結びつけるマーケティングや企画を含めてトータルでデザインを考えます。

研究分野 : 観光デザイン

研究者の所属部局・職位・氏名 : 和歌山大学観光学部 観光学科・教授・北村元成

本件に関するお問い合わせ : liaison@ml.wakayama-u.ac.jp